

今日的な課題に適応プロジェクト

5年 学級活動 「学級室内運動会をしよう」

◎授業について

10月30日(水)に第5回となる校内での研究授業を行いました。近年、世の中はインターネットやAIの普及によって情報化が進んでいます。こどもたちには、そんな変わりゆく時代や、これまで予想だにしていなかった新たな課題に適応していく力が必要です。そこで今回の研究授業では、集団での話し合いを通して課題を解決する学級会を行いました。

学級会を進行する司会グループのこどもたちは、本授業を行う前に活動計画を立て、議題と提案理由を早めに学級全体に伝えるようにしました。その後、提案理由に合った内容や工夫、考えを集めて司会グループが整理をします。その際に選ばれなかった意見は、学級全体に理由を説明し、今後どのように生かしていくのかを確認しておくことで、提案者の思いを大切にします。

本授業では、「学級会ノート」に自分の考えやその理由をまとめておくことで、学級の全員が自分の意見をもって学級会に臨むことができました。

話し合うこと①では、「仲を深めるために何をするか」について考えました。こどもたちは、「クラスみんなで仲を深められる種目を決めよう」という話し合いのめあてを達成するために、どの種目をするかじっくりと考えていました。また、司会グループに任せきりにするのではなく、学級全体でたくさんの意見を出し合いながら話し合いを進めていくことができました。さらに、心配する意見に学級全体で向き合う姿からは、学級の仲を深めるために真剣に取り組んでいる様子が伝わりました。

話し合うこと②では、「会の工夫」について考えました。運動会を盛り上げるために、これまでの経験をもとにたくさんのこどもたちが自分の思いや意見を伝えることで、ねらいの達成に向かうことができました。

☆指導・講評



○教員からの議題の提案は複数あるとよい。自分たちにとって必要なものを選択する力が身に付く。

○こどもたちが、学校の中でできることの範囲を意識して話し合うことができていたことがよかった。今回は室内での活動に限定することで、様々な工夫が生まれるきっかけになった。

○「仲がよくなる」ではなく「仲が深まる」ためにはどうすればいいのか考えることは、これから共に成長していく仲間づくりの活動として素晴らしかった。

○司会グループを中心に進行を行うことができ、適切な場面において

教員が助言を行うことができていた。こどもたちが自ら考え、行動することができていた。

▲一人一人の役割を決めて終わることができれば、こどもたちに学級の一員としての意識が生まれてさらによかった。

